

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2020年 7～9月期の景況 / 2020年 10～12月期の見通

宇部市内における中小企業の業況は、依然として厳しい状況下にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2020年7～9月期の実績と2020年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲1.8%の悪化となった。業種別では、製造業は▲84.2%から▲73.7%へ、小売業は▲52.6%から▲36.8%へと大幅に回復、卸売業は▲38.1%から▲45.0%へ、建設業は▲30.0%から▲48.0%へと大幅に悪化、サービス業は▲52.0%から▲52.2%へ僅かに悪化している。

来期の新規設備投資については、今期より10.6%も減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は17期連続で「従業員の確保難」が1位となった。なお、製造業は4期連続と卸売業では「需要の停滞」が1位となった。小売業とサービス業では、ニーズの変化への対応が大きな割合を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

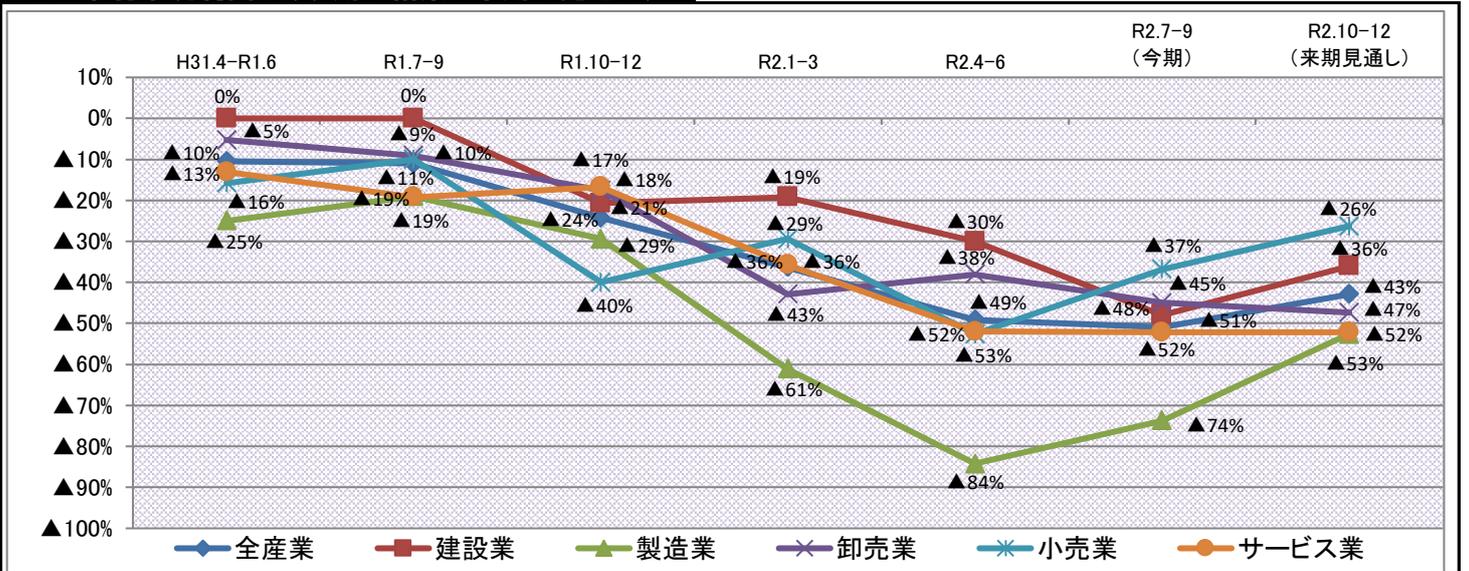
DATA

- 調査期間: 2020年9月19日～9月29日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業136社
- 有効回答企業数: 110社(80.9%)

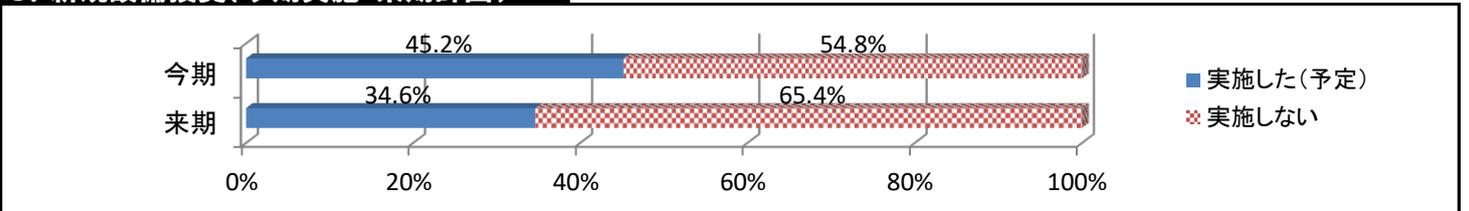
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲50.9%	▲1.8%	▲57.8%	2.90%	▲17.6%	10.00%	▲47.2%	3.64%	▲2.8%	▲7.1%
建設業	▲48.0%	▲18.0%	▲65.4%	▲18.5%	▲15.4%	3.37%	▲53.8%	▲16.3%	▲7.7%	▲17.1%
製造業	▲73.7%	10.53%	▲78.9%	10.55%	▲27.8%	11.11%	▲72.2%	5.56%	5.26%	▲10.5%
卸売業	▲45.0%	▲6.9%	▲70.0%	▲8.1%	▲15.0%	▲0.7%	▲45.0%	▲6.9%	0.00%	0.00%
小売業	▲36.8%	15.8%	▲35.0%	30.00%	▲15.0%	15.00%	▲25.0%	35.00%	0.00%	10.53%
サービス業	▲52.2%	▲0.2%	▲41.7%	10.33%	▲16.7%	23.33%	▲41.7%	10.33%	▲8.3%	▲12.3%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	21.4%	需要の停滞	18.9%	需要の停滞	25.5%	消費者ニーズの変化への対応	19.2%	利用者ニーズの変化への対応	25.0%
2位	熟練技術者の確保難	18.6%	生産設備の不足・老朽化	15.1%	従業員の確保難	17.0%	需要の停滞	17.3%	需要の停滞	21.7%
3位	民間需要の停滞	17.1%	人件費の増加	11.3%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	14.9%	従業員の確保難	9.6%	従業員の確保難	13.3%
4位	下請業者の確保難	10.0%	製品ニーズの変化への対応	7.5%	販売単価の低下・上昇難	10.6%	大型店・中型店の進出による競争の激化	7.7%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	6.7%